

取組名	小中合同集団登校・引き渡し訓練		
特徴	小中学校が連携して集団登校及び引き渡し訓練を実施		
学校名	光市立光井小学校・光井中学校	期日	平成30年 6月21日(木) 10月15日(月)

1 ねらい

- 自然災害時の状況や犯罪の起こりやすい場所を判断できる力（危険予測能力）を身に付け、場所に応じた適切な行動をとることができる。
- 集団登校において、自他の安全を確保しながら児童を安全に避難場所まで誘導する体験を通して、周囲の人の安全に貢献できる力を養う。
- 登校時間帯に地震等の災害が起こった際の安全管理体制を構築する。



「小学校で登校班ごとの顔合わせ会」

2 概要

(1) 取組の流れ

- ・全校集会で趣旨説明、趣旨を保護者へ連絡
- ・小学生の集団登校の集合場所と集合時刻の確認
- ・実施日の見守りを地域に要請（PTA理事会、学校運営協議会、広報誌等）
- ・事前学習
 - 危険予測学習（学級担任によるKYTの授業）
 - 危険箇所の確認（ブロック塀）
- ・地震等緊急放送対応（シェイクアウト）訓練
- ・小中合同集会で顔合わせ（6月実施）（班長・記録係の確認）
- ・引き渡しカード及び引き渡し訓練参加確認



「グループごとの集団登校」

(2) 当日の流れ

- 集団登校（6月21日・10月15日）
 - ・登校班毎に集合
 - ・欠席確認
 - ・中学生が危険箇所を確認しながら集団登校
 - ・小学校に到着した班から、到着報告
- 引き渡し訓練（10月15日）
 - ・15時にメールを小中で同時配信
 - ・生徒玄関にて引き渡しカードを記入
 - ・引き渡し



「シェイクアウト訓練」

3 成果と今後の課題等

(1) 成果

- ・日常の通学路にある危険箇所を確認する体験を通じ、危険予測への意識を高めることができた。
- ・小学生を見守ることで、地域の安全に貢献することができた。
- ・小学生の見本となる行動をすることで、自己有用感や自尊感情を高めることができた。

(2) 課題

- ・年間に2回、集団登校を実施するなかで、地域の見守り体制をさらに強化していく必要がある。
- ・緊急時の学校対応を地域に知らせる方法や保護者へ引き渡しができない生徒への対応を検討していきたい。



「引き渡し訓練」